

企業送付資料：別添 2 - 2

製品情報シート1

整理番号

1 - 2

分野	大分類	000	一般製品名	
エネルギー	中分類	000	水力発電機	
	小分類	000		
製品名	●●●【項目1】			
製品の特徴	<p>【項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 水車の羽根形状を工夫することによって、低落差・低流量でも安定した発電が可能となる。 ■ 部品の製造から自社製品を用いることによって、設置場所に応じたカスタマイズが容易である。 ■ 基本的に潤滑油の補給以外で機器へのメンテナンスは必要ない。(ただし、流れ込む枯葉等の除去は必要) 			
製品キーワード	【項目3】	無電力電化、環境配慮、CO2削減	製品価格	【項目4】 ○○万円/台 (○○万円/kW)
製品概要 [外形寸法、重量、主な機能や材質を記載]				
形状	LxWxH=○x○x○mm	【項目5】	設置形態・重量	150kg/台 【項目6】
能力	年間発電電力約○○kWh (50kWh,有効落差○m,水量○m ³ /sの場合)	【項目7】	電力・燃料消費	なし 【項目8】
気象条件等 (適用条件)	乾季のある地域では、発電に適さない時期がある【項目9】			
【項目10】	製品(またはシステム)の写真		製品・システムの設置・利用状況の写真 あれば、途上国での実施例の写真	
	製品の構造やシステムフロー図など			
実績	国内	・××県○○市 【項目11】 ・××県○○市		
	海外	・××国○○州△△市 【項目12】		
製造者情報	社名	【項目13】	株式会社 ×○×	支店・代理店の有無
	英語表記	【項目14】	○×○× Co.,Ltd.	国内 【項目22】 国内主要地方には代理店あり
	代表者名	【項目15】	XXX XXXX	
	連絡先	【項目16】	0X-XXXX-XXXX	
	資本金	【項目17】	△△万円	海外 【項目23】 なし
	従業員数	【項目18】	XX名	
E-mail	【項目19】	○○○@○○.○○		
ホームページ	企業	【項目20】	○○○○@○○.jp	
	製品関連	【項目21】	○○○○@○○.jp	

分野別の開発課題、製品・技術の用途等をふまえて、分類しております。

公的機関や業界団体等が発信する資料や貴社のホームページ、提供頂いた情報等をもとに作成しております。

分野	大分類	000	一般製品名
エネルギー	中分類	000	水力発電機
	小分類	000	
製品名	●●●【項目1】		
製品の特徴	【項目2】 ■水車の羽根形状を工夫することによって、低落差・低流量でも安定した発電が可能となる。 ■部品の製造から自社製品を用いることによって、設置場所に応じたカスタマイズが容易である。 ■基本的に潤滑油の補給以外で機器へのメンテナンスは必要ない。(ただし、流れ込む枯葉等の除去は必要)		
1. 使用条件 [一般的に想定される使用条件及び海外使用状況]			
①製品の耐用・使用期間		20年以上の使用が可能である。【項目24】	
②コスト	導入・設置時	運送費(トラック)、設置費用(技術者2名2日間)程【項目25】	
	運用時	運転管理者1名(専門技術者でなくてよい)で運転・保守点検【項目26】	
	維持管理時	専門技術者による機器点検年1回程度 消耗品購入費(年間約XXX円)【項目27】	
③取扱い方法	導入・設置時	専門技術者による取扱い、運転指導が必要【項目28】	
	運用時	専門技術者に指導を受けた管理者が常駐管理・運転を行う【項目29】	
④維持管理	消耗品・部品交換	消耗部品(ベアリング)は日本の本代理店から供給が必要 交換作業は専門技術者から指導を受けた管理者が実施することが必要【項目30】	
	点検・清掃等作業	導入時に専門技術者から指導を受けた管理者により実施する (流入する落ち葉とうのごみの除去、潤滑油の補給が主な維持管理内容)【項目31】	
⑤その他の留意事項 (社会制度 [インセンティブ・ハードル]、輸出入規制等)		灌漑用水を活用することが考えられるため、地元の水利権等に配慮すること【項目32】	
2. ODAスキームとの連携可能性、適用例			
資金協力	技術協力	その他	備考
特記事項(開発/開発課題)	この内容については、貴社の製品・技術情報と、途上国における状況、課題を勘案し、弊社で記載させて頂いております。		
3. 優位性			
①特許・受賞履歴	特許取得(日本・中国・タイ……)、xxxx年xxx県ものづくり大賞受【項目33】		
②その他の優位性 (技術・活用局面の独自性 / 海外対応等)	●国内外で累計〇〇台を販売。海外にも導入実績あり。(受注生産)【項目34】 ●低落差/低流量でも安定した発電が可能であり、灌漑水路等を利用することができる。 ●製品の部品から自社で作成するため、設置場所の特性に合わせたカスタマイズができる。 ●説明書等のローカライズは、現在、未対応であり、将来的にもその予定はない。		
備考欄	●すでに海外での導入実績があり、今後より展開していき【項目35】		

公的機関や業界団体等が発信する資料や貴社のホームページ、提供頂いた情報等を基に、作成しております。

ヒアリングの際のコメント等を記載させて頂いております。

※ 【1. 使用条件】において「※」が記載されている項目は、特に留意すべき項目である。